

スペース 従業員の子どもも招き ワークショップ開催

商業施設を中心に空間の企画・設計・制作・施工監理を行う株式会社スペースは昨年12月17日、同社の制作本部である愛知・犬山工場にて従業員の子どもを対象にしたワークショップ「Family Workshop」を開催した。

工場がある愛知県では家庭教育支援として「あいちっこ家庭教育応援企業」制度を立ち上げており県内の企業・事業所などで就労する保護者が安心して働けるよう、県教育委員会らと連携して家庭教育の推進を目指している。同社はこれに賛同し、昨年10月24日に登録。今回のワークショップは、その一環として行われた。子どもたちには、同社の社員証を模した名札を配り、職場理解

や子ども同士のコミュニケーションの促進を目指した。

当日は、廃棄される予定だった木製什器の端材や廃塗料を活用しておもちゃを製作。製作にあたっては、子どもたちに「スマートボール台」、「ミニクリスマスツリー」、「紙飛行機シューター」の中から作りたいたいものを選んでもらい、工場に勤める職人による指導の下、のこぎりや金づち、ヤスリを用い、型抜きやバリ取り、ニスを使つての仕上げ加工などを体験した。

写真提供：株式会社スペース



担当者は「ライフスタイルの変化に伴い、木製のおもちゃをはじめ、木に触れる機会が減少傾向

にあり、中、木材を使ったおもちゃ製作を通して、木の温もりや自然の重要性などを再認識してもらった」と話す。完成品で遊んだ後は、おもちゃのベース材を作るのに使用された加工機の紹介も交えながら、工場内を案内した。

にある中、木材を使ったおもちゃ製作を通して、木の温もりや自然の重要性などを再認識してもらった」と話す。完成品で遊んだ後は、おもちゃのベース材を作るのに使用された加工機の紹介も交えながら、工場内を案内した。